

- 2019年12月の米新築住宅販売件数は市場予想を下回り、5ヵ月ぶりの低水準。地域別で大きな差がみられた。全体で伸び悩みとなったものの、2007年後半に近い水準を足もとで維持している。
- 中古住宅販売件数は市場予想を上回り、2018年2月以来、1年10ヵ月ぶりの高水準。購入の状況は好ましく、2020年も続きそうだとの見方も。米住宅販売は総じて堅調さが継続しているとみられる。

米新築住宅販売件数は減少も比較的高水準を維持

27日に米商務省が発表した2019年12月の新築住宅販売件数は前月比-0.4%の69万4千件（季節調整済み、年率換算。以下、同じ。）と、市場予想の73万件（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を下回り、5ヵ月ぶりの低水準となりました。前月は速報値の71万9千件から69万7千件へ下方修正されました。

地域別にみると、全米4地域のうちおよそ3分の1を占める西部のほか中西部は前月比で2桁のプラスとなった一方、全米4地域のうち半分を占める南部のほか北東部は2桁のマイナスとなるなど大きな差がみられました。

新築住宅販売件数は全体で伸び悩みとなったものの、2007年後半に近い高水準を足もとで維持しています。

米中古住宅販売件数は1年10ヵ月ぶりの高水準

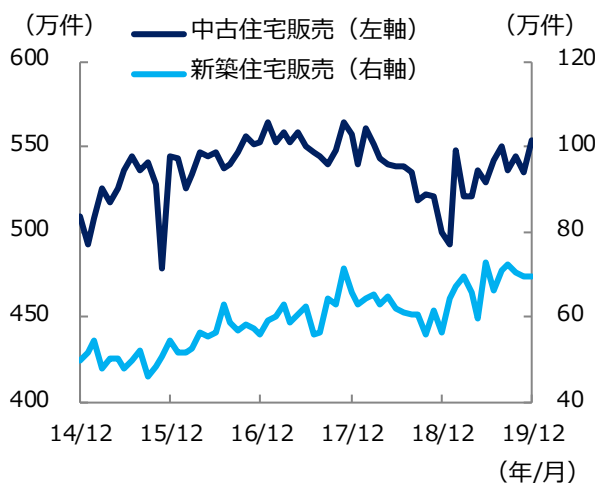
22日に全米不動産業者協会（NAR）が発表した2019年12月の中古住宅販売件数は前月比+3.6%の554万件と、市場予想の543万件を上回り、2018年2月以来、1年10ヵ月ぶりの高水準となりました。また、前年同月比では+10.8%と、2016年11月以来、約3年ぶりの高い伸びとなりました。

一戸建て中古住宅について販売価格帯・地域別の内訳をみると、前年同月比の増減（季節調整前）では、10万ドル以下の価格帯が全米4地域すべてでマイナスとなりました。なお、同価格帯の販売金額全体に占める割合は1割に満たないものとなっています。一方、10～25万米ドルでは西部を除く3地域でプラスとなったほか、25～100万米ドルではほとんどの販売価格帯・地域で20～30%のプラスを記録しました。

NARは、住宅購入の状況は好ましく、2020年も続きそうだとしました。

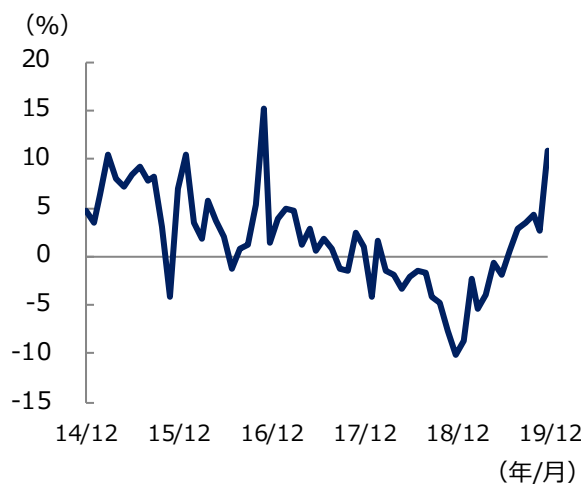
こうしたことから、米住宅販売は総じて堅調さが継続しているとみられます。

米住宅販売件数の推移



※期間：2014年12月～2019年12月（月次）
季節調整済み、年率換算

米中古住宅販売件数の推移



※期間：2014年12月～2019年12月（月次）
季節調整済み、前年同月比

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。